

BWI の指摘事項に対する事実関係及び対応について

発注者名

特定建築者（代表会社 三井不動産レジデンシャル 他 10 社）

BWI の指摘事項に対する事実関係

特定建築者として、元請会社に BWI 指摘事項の事実関係を確認し、以下回答を得ています。

○指摘事項 1：選手村では月 28 日間連続で働いている

- 選手村の建設現場は、原則日曜日・祝日を休業日としており、当現場において連続での 28 日勤務は考えられません。元請各社は、各作業場において 4 週 6 休以上を確立しております。

○指摘事項 2：強風下で、コンクリート資材が吊り上げられ、多くの労働者が危険にさらされた

- クレーンによる作業については、関係法令を遵守し、安全に実施していることを確認しております。

○指摘事項 3：作業員のほぼ半数が雇用契約を結んでいない

- 元請各社が作業員の新規入場教育の際に、雇用契約の有無を作業員本人に確認しており、適切な契約を結んでいると確認できた作業員のみ作業に従事しております。各作業員の雇用契約書は、各専門工事業者にて保管しています。

○指摘事項 4：一部の労働者は安全保護具を自前で購入していた。

- 選手村の建設現場においては、現場作業に伴うヘルメットの支給・貸与及びその負担の方法は、各専門工事業者により様々ですが、現場の統括安全衛生管理を行う元請各社は、各専門工事業者に対して、安全関係法令を遵守することを指導しております。

○指摘事項 5：外国人労働者に資材運搬など単純作業ばかりを強いる。

- 選手村の建設現場においては、外国人技能実習生を雇用する各専門工事業者が、実習生各人の技量や経験を踏まえて担当する作業を適切に割り当てています。また、元請各社は技能実習制度の趣旨を踏まえて、適切に労務管理や健康管理を行うよう各専門工事業者を指導しています。

○指摘事項 6：外国人労働者に賃金未払いのままで破産した企業があった

- 選手村の建設現場においては、少なくとも契約期間中に倒産した専門工

事業者はいないと聞いています。

○指摘事項 7：建設現場では移住労働者の安全基準が低い。

- 選手村の建設現場においては、元請各社によって方法は様々ですが、安全確保の観点で必要な注意喚起の表示は日本語だけでなく、英語・中国語・ベトナム語等を表記するとともに、誰が見ても理解できるよう「絵」を使用しています。
- また、コミュニケーションについても、新規入場教育時に日本語の習熟度を確認し、現場での危険・安全を理解する能力を有しているか判断してから入場させているほか、通訳やハンディ翻訳機を使用する等、外国人技能実習生等誰もが働きやすい環境の整備に努めています。

○指摘事項 8：建設現場での情報統制が厳しい。

- 選手村の建設現場においては、従前より元請各社のセキュリティルールに則り、工事現場内の情報の取扱いについて適切に管理しています。
- このため、工事で知り得た情報を無断で開示することや業務以外の目的で無断に写真撮影を行うことは認めておりませんが、安全や品質などの確認のために写真撮影が必要な場合のみ撮影を許可しています。

上記に対する発注者としての対応策

上記指摘に対して、事実と認められる事象は確認できませんでしたが、発注者として元請会社に対し、引き続き現場における安全管理と快適な労働環境の整備に努めるよう、周知してまいります。